

基本事業コード	35010000	担当課所名	農業委員会
基本事業名	農業委員会運営事務		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	5	すぐれた価値を生み出す「活力のまち」
	政策	3	自立した農林水産業のまちづくり
	施策	2	生産基盤の強化
			総合振興計画 135 ページ

**基本事業の概要**  
 優良農地を守るため、農地転用許可申請・届出等で、利用関係を調整し、遊休農地の解消を進めることで農地の有効利用を図る。円滑な農業経営支援のため農家台帳の整備・保管し、農業者年金の普及を図る。農業者年金の普及を図る。農業等の先進地視察や研修会に参加し調査研究することで農業委員・職員の資質の向上を図る。農業者等に対し農業に関する見識、関心を高めてもらう。

**対象** 市民、農業者、消費者、小学校、農業委員、事務局職員、農地  
**意図** (対象をどのようにしたいか) 優良農地を守り、農地の有効利用を図り、円滑な農業経営、担い手の育成確保をする。農業関連の情報を知り、農業への見識、感心を高めてもらう。農業等の調査研究することにより資質向上を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	24年度	評価年度(25年度)		27年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
許可申請の適正処理率	適正処理された許可申請数 / 全申請数 × 100	%	100	100	100	100	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指 標			25年度	単位	事務事業評価 27年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		24年度決算額	25年度決算額	26年度予算額	実績値(下段)			
01	農業委員会各種会議の開催	指標 農業委員会総会の開催日数	12	12	12	回	A	
		10,238,775	10,289,513	10,624,000	12		維持 維持	
02	農地法他、法律に基づく申請受理、調査、進達、許可書交付業務	指標 3, 4, 5条申請件数	180	180	219	件	A	
		149,512	74,871	254,000	219		維持 維持	
03	農家台帳の整備・保管	指標 データ更新回数	1	1	0	回	A	
		0	0	0	0		維持 維持	
04	遊休農地解消・活用事業	指標 遊休農地活用草刈機無償貸出件数	0	0	0	回	A	◎
		395,690	75,980	60,000	0		維持 維持	
05	国有農地の管理	指標 草刈り回数	2	2	2	回	A	
		12,000	12,000	12,000	2		維持 維持	
06	農業者年金基金からの委託業務	指標 農業者年金新規加入者数	2	2	0	人	A	
		8,106	9,261	20,000	0		維持 維持	
07	農業委員県外視察研修の実施、県・他団体研修会等への参加	指標 農業先進地視察の実施、研修会等への参加数	10	10	7	回	A	
		1,017,620	1,027,310	1,087,000	7		維持 維持	
08	「農政ちちぶ」発行	指標 「農政ちちぶ」の発行回数	3	3	3	回	B	
		867,309	886,731	865,000	3		縮小 維持	
09	農家めぐり事業	指標 農家めぐり実施回数	1	1	1	回	A	
		4,000	2,100	4,000	1		維持 維持	
10	農業に関する作文・図画コンクールの開催	指標 農業に関する作文・図画コンクール応募点数	90	90	91	点	A	
		73,600	88,716	80,000	91		維持 維持	
11	農地制度実施円滑化事業	指標 農地利用状況調査面積	2,783	2,783	2,783	ha	A	○
		1,006,100	1,007,000	1,007,000	2783		維持 維持	
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)	14,591,000	14,159,000	
事業費の合計(円) (A)	13,772,712	13,473,482	14,013,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
正規職員	業務量	3.75人	4.00人	
	人件費(B)	22,576,879	23,552,800	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		36,349,591	37,026,282	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	優良農地を守るため、農地転用許可申請・届出等で利用関係を調整し、遊休農地の解消を進めるうえで基本事業の意図は適切である。また、基本事業指標と目標値の設定は適切である。実績値に問題はない。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標の目標値を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 農業委員会として行うべき全ての事務事業で構成されているため問題はない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 実施主体は適切である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 遊休農地対策として進めているヘアリーベッチ関連事業は、その実用性が認められてきている状況にあるため、遊休農地対策としてヘアリーベッチの普及に注視したい。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	農化アサガオ類の防除について、農政ちちぶ以外に市のホームページ、facebook等で記事掲載し早期駆除実施について啓発していきたい。	
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案		
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	農業委員県外視察研修の実施において、他県における先進的な取り組みを視察研修することにより、意義深く、今後の農業委員活動に必要である。県内では、見られない先進的な活動をしている委員会もあり、大変刺激になっている。しかし、コストの問題を解決すべく財政課と協議を行い県内研修等検討し、最大限の効果が発揮できるよう計画していきたい。	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 遊休農地対策としてヘアリーベッチ実証展示園を設け普及すべく、農家へ種子の配布を実施してきた。その成果として、景観形成・緑肥効果・良質の蜂蜜が採取できるなどの実績が上がっている。今後、さらなる地域的対策として、低予算で同等以上の効果が期待できる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	町田 達彌	電話番号 0494-25-5231
----------------------	-------	----------------------